

# 1年次 総合的な探究の時間 最終研究発表会

1月28日(火)の「総合的な探究の時間」において、東北芸術工科大学デザイン工学部プロダクトデザイン学科教授の柚木泰彦先生をお招きして、最終研究発表会を行いました。



生徒たちは新書を通して自ら身近な社会的課題を設定し、デザイン思考を活用しながらその解決策について議論を重ね探究の基礎を学ぶことができました。生徒の感想文からは、年度当初に比べ読解力や思考力だけでなく、表現力や共に学び合う姿勢が高まったという意見が数多く見受けられました。

また、一年間ご指導頂いた柚木先生からは2点について助言を頂きました。1点目はグループで話し合いをする

際は漠然と議論をするのではなくテーマを一つに絞って議論をし、そこで出てきた課題点を自分事としてとらえて解決策を考えていくことで高校生ならではのアイデアが出やすいということ、2点目は、グループ内で対立する意見が出た場合に、自分の意見とは全く違う相手の立場になって考えてみることで新たな提案ができるという助言を頂きました。以下に発表会の様子をご紹介します。

## ●自分の思いを伝えることができない人を減らすには



## ●過疎化の改善にどうロボットを活用するか



## ●いじめ・ストレスのない環境をつくる



## ●多様性を実現するためには



## ●戦争を起こさないようにするためには



## ●積極的に質問をする生徒

